

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(3月30日～4月5日)

2021年4月8日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、特別措置(欧米への逆制裁)の実施に関する大統領決定第128号に署名。(3/30)
- 欧州投資銀行、ミンスク～スモルゴニ～リトアニアに至る国道7号線案件への融資の停止を決定。(3/31)
- 国家安全保障委員会、チハノフスカヤ元候補及びラトウシュコ評議会幹部会メンバーをテロ活動への参加者リストに追加。(4/2)

【ルカシェンコ大統領動静】

●政府高官の任命(())内は前役職)

- ・ペルトツォフ情報大臣(大統領府副長官)
- ・ルツキー大統領府副長官(情報大臣)
- ・ラガーシュク・ゴメリ州大統領検査官(ミンスク州執行委員会副委員長)
- ・ブタリョフ・ミンスク州大統領検査官(ガレツキー地区執行委員会委員長)

(4/5 大統領公式ホームページ)

●組織間の権限再割当に関する会議に出席。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・国内における実効的規律は機能しなくなっている。四半世紀は、特にベラルーシのような若い国にとって、非常に重要な発展の段階であった。どのような決定が、どのような水準で採択されるか改めて考える時が来た。
- ・大統領権限については、数年前、国民や議会に対し憲法改正に関しお伝えした。当時、2つの憲法改正案が用意された。私は、それぞれの改正案に誰が賛成しているか分かるように求めた。二つの案があったが、変更はほとんどなかった。なぜなら、人々は、提案や変更には、責任を取る必要があると分かっていたから。
- ・現在、憲法委員会には36名が参加しており、全員が大統領に対する提案へ責任を持つ。その後、大統領が国民投票にかける。決めるのは、国民である。社会は、憲法改正を求めており、それは絶対に、そして誠実に為される。

(3/30 大統領公式ホームページ)

●特別措置(欧米への逆制裁)の実施に関する大統領決定第128号に署名。

同決定は、安全保障と国家利益の保護を目的に下され、ベラルーシの法人・個人に対し、制裁を科した国家の法人、個人によって為される、幾つかの商品カテゴリー及びサービスの輸入の禁止措置を規定している。製品、サービスの具体名は、閣僚会議によって指定される。

(3/30 大統領公式ホームページ)

●スノプコフ第一副首相、コルトヴィチ反独占規制・貿易大臣と会談。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・国内市場と自国製造者の保護は、一番の問題である。我々は製造国である。市場は小さいが、競争力のある形で、他国製造者に市場を譲らないようにすべきであろう。ユーラシア経済同盟の枠組みにおける我々の義務も忘れてはならないが、国内市場と自国製造者の保護に向け管理と適切な施策を行うべきであろう。
- ・自国製造者の保護について、不正をしたり、隠す必要はない。我々はたくさんの商品を製造しているが、いくつかのスーパーマーケットでそれを見かけないことがある。ベラルーシ製の商品の販売を断るスーパーマーケットもある。それらの名前を挙げるつもりはない。
- ・大きな需要のある商品については、根拠のない価

格高騰を許してはならないが、それについてはどのように対処しているであろうか。第二、第三四半期において、管理できない価格形成の問題が発生しないようにしたい。

(4/1 大統領公式ホームページ)

●新型コロナウイルスに対する自国製ワクチン開発に関する指示書に署名

(4/1 大統領公式ホームページ)

●プーチン露大統領と電話会談。

両大統領は、露ベラルーシ統一の日、新型コロナウイルスに関するワクチン接種やワクチン製造、ポーランドや米国を始めとする西側からの外的圧力、連合国家のハイレベル評議会や第8回ベラルーシ・ロシア地方フォーラムの実施、連合国家常任委員会の活動、両国間の交通機関の再稼働、両国の経済貿易関係の発展や、マスメディアの相互協力について協議した。

(4/2 大統領公式ホームページ)

【外交】

●セマシコ駐露ベラルーシ大使、ロシアとの統合プロセスに関し、ロシア新聞のインタビューへ回答。

インタビュー回答の概要は以下の通り。

・今日、30件のロードマップ、そのうち税法統一に関するロードマップ及び税関規制に関する2件のロードマップの計3件が1つにまとめられたため、正確には28件のロードマップがあり、そのうち21件は署名の用意が出来ている。残り7つのロードマップについても、4月末までに合意できるものと期待している。そうなれば、ロードマップ及びその実現に向けたプログラムは本年上半期に署名される可能性がある。

・協定は大部である。各ロードマップには2つあるいは3つの協定がある。2022年1月1日以降、電力・ガス・石油・石油製品、鉄道を始めとする輸送サービスの統一市場及び統一された産業・農業政策を開始できるよう、全ての協定が、国内の承認プロセスを経て、署名、批准される必要がある。この作業の終わりは既に見えている。

(3/30 ベラパン通信)

●集団安全保障条約機構加盟国参謀本部長会議を実施し、「プロクシ」作戦の枠組みにおいて憲法の秩序と国家の安全基盤に対する脅威に対して共闘することを合意。

(3/31 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、ハーヴィスト・フィンランド外務大臣と電話会談し、欧州安全保障協力機構における相互協力の展望、ベラルーシとEUの相互協力に関し協議を実施。

(3/31 ベラパン通信)

●アレイニク外務次官、ヨジッチ・駐ベラルーシパチカン市国大使と直近半年で5度目となる会談を実施。

(4/2 ベラパン通信)

【経済】

●ユーラシア開発銀行、2021年のベラルーシ国内インフレ率を6.6%、GDP成長率を+0.1%と予測。

(3/31 ベラパン通信)

●3月1日時点の国家債務、年始対比2.9%増加の600億ルーブル。

(3/31 ベラパン通信)

●世銀、2021年ベラルーシGDP成長率-2.2%と予測。

(3/31 ベラパン通信)

●2021年1月～2月、ベラルーシ貿易高、昨年対比15%増加。

(3/31 ベラパン通信)

●3月25日に一時停止していたオストロヴェツ原発第一エネルギーブロック、再稼働。

(3/31 ベラパン通信)

●欧州投資銀行、ミンスク～スモルゴニ～リトアニア
に至る国道7号線案件への融資の停止を決定。

(3/31 ベラパン通信)

●ベラルーシ国立銀行、2021年インフレ率を7.2%と
予測。

(4/5 ベラパン通信)

【内政】

●国家安全保障委員会、チハノフスカヤ元候補及び
ラトウシュコ評議会幹部会メンバーをテロ活動への参
加者リストに追加。

(4/2 ベラパン通信)

【抗議の動き】

●チハノフスカヤ元候補が自身のテレグラム・チャン
ネルにて、政権との交渉に向けた準備の第二段階の
開始を表明

(3/31 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、アレクシエーヴィチ氏やそ
の他55名の調整評議会メンバーとともに、国際機関
に対し、調整評議会に対する支持を要請。

(4/3 ベラパン通信)

(了)